

CMやドラマ、映画で撮影された回数が多い駅は(20年～24年度)

- 1位 八千代緑が丘駅 (15回)
- 2位 村上駅 (8回)
- 3位 船橋日大前・東海神・東葉勝田台駅 (6回)

一日平均の乗車数が西船橋駅に次いで多い駅は(24年度)

- 1位 北習志野駅 (1万8,544人)
- 2位 八千代緑が丘駅 (1万6,428人)
- 3位 東葉勝田台駅 (1万5,379人)

番外編

忘れ物・落とし物で多いものは

忘れ物や落とし物で多いものは、なんといっても「傘」。その他にも冬場は「マフラー」や「手袋」などの衣服、通年では携帯電話やお土産などがあります。

金曜日の夜だけは、カバンの忘れ物が多いそうです。皆さん飲みすぎには注意しましょうね。

一問一答

東葉高速 2人目の女性運転士 千葉翔子さんにインタビュー チームワークを大切に



優れた運転技術や専門知識に加えて、高い集中力と的確な判断力が求められる運転士。現在東葉高速に41人いる運転士の中で、2人目の女性運転士として活躍する千葉翔子さんにお話を伺いました。

記者 運転士になったきっかけは何ですか

千葉さん 初めは運転士になるつもりはなかったんです。先輩たちの働く姿を見ていくうちに私もチャレンジしてみようと思いました。

記者 昨年の女性版で取材した交番の勤務は3交代制でしたが、運転士の勤務体系はどうなっていますか

千葉さん 私たち乗務員は、時間帯ごとに分かれた30種類ほどのシフトに沿って日替わりで乗務しています。始発や最終の電車を運転するときは、泊まり勤務になります。毎日出勤時間が違うことが、ほかの仕事とは違うかもしれませんね。

記者 運転していて楽しいところ、意識していることは

千葉さん たくさんの人の命を預かっているので、楽しさというよりは責任の重さを強く感じます。その分やりがいはあると思います。

意識しているところは、東葉高速は基本が高架なので、駅によって微妙に勾配が違います。そのあたりを計算してブレーキをかけることで、常に同じ位置に止まれるよう心がけています。

記者 運転士として大切なことは

千葉さん チームワークだと思います。運転するのは一人だとしても、常に車掌とのコミュニケーションは必要ですし、車両の点検・整備や指令室からの指示などみんなが一つになって初めて、安全で快適なサービスが提供できるのだと思います。



▲勤務報告の様子を見学



山本記者

千葉さんの印象は、「芯のしっかりした人」。運転士は相当な努力と覚悟をもって運転していることが分かり、想像よりもずっと小柄だった千葉さんですが、とても頼もしく思えました。これから電車に乗るときは、「今日はどんな人かしら」と考える楽しみが増えました。



運転室

運転士が操縦を行う運転台のしくみを紹介します。

速度計…最高速度は時速100キロメートル

T I S表示装置…タッチパネル式で行先等の設定を行ったり、車両の状態を表示したりします

電流計

圧力計

後進を切り替えるレバーサー…前進と

マスターコントロールレバー…電車を加速・減速させるレバー。ワンハンドル型と呼ばれ、アクセルとブレーキが一緒になっています

パンタグラフ下げボタン…緊急時などにパンタグラフを下げるためのボタン

車掌室

列車の最後部では車掌がホームでのドアの開閉や車内放送、空調の管理などを行っています。

再開閉スイッチ…人や物が挟まったときに、そのドアだけを再開します

車掌スイッチ…すべてのドアの開閉を行うスイッチ



鳴原記者

車両基地を見学し、まず思ったことは「ブレーキやエアコン、車体など見るものすべてが大きい」ということ。ホームで何気なく見ている電車は上半分だけだったんですね。その分、整備や点検は大掛かりで、特にパンタグラフの整備は感電の危険もあるとのことで常に集中しながら作業をする必要があることを知りました。これまで電車に乗って目が行くのは駅員や車掌くらいだけでしたが、ほかにも人目につかない場所で車両の整備士や清掃員、指令所の人たちなど、たくさんの人たちのチームワークがあってこそ、電車は安全に快適に走っているのだと実感しました。

駆け込み乗車はおやめください



東葉高速鉄道に関するお問い合わせは 同社 458-0017へ